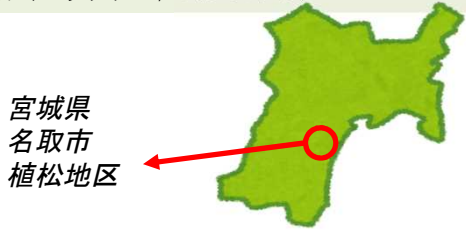


# 産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成28年度:名取市水田農業推進協議会)(宮城県)

### 取組の概要

取組の概要 : 水稲及び大豆の低コスト生産の推進  
 計画作成主体 : 名取市水田農業推進協議会  
 対象品目 : 水稲・大豆(産地面積164ha)  
 (水稲129ha・大豆35ha)  
 主な取組主体 : 農事組合法人U. M. A. S. I.  
 成果目標 : 生産コスト10%以上の削減  
 助成金の活用状況 :  
 整備事業(乾燥調製施設, 共同育苗施設)  
 生産支援事業(トラクター, コンバイン)

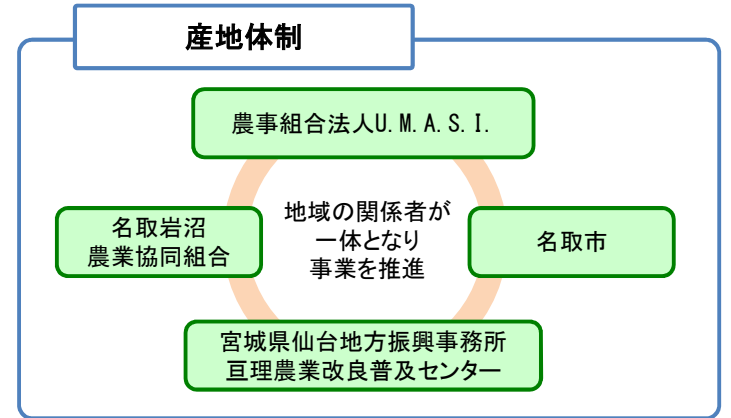


宮城県  
名取市  
植松地区

### ポイント

**【産地の課題及び取組方向】**  
 乾燥調製施設や水稲育苗施設の複合施設として整備を行い, 経営規模に応じた機械を導入することで, 植松地区の農地集積を推進する。併せて機械利用の共有化やその機械の維持管理を組織が一手に担うことにより, 作業率の向上に繋げコストを抑えることが可能となり, 産地としての生産コストの10%以上の削減を実現する。

**【産地の体質強化に向けた方策】**  
 地域の水稲・大豆の生産コストを削減するため, 中心的経営体が乾燥調製施設, 共同育苗施設及び大型農業機械を一体的に整備・導入し, 地域内の施設・機械の集約化を推進。



### 地域における独自の取組

〈主な取組〉  
 中心的経営体への農地集積や乾燥調製, 育苗, 収穫作業の委託を推進。

